

特別号 No. 1 発行日:2020年12月22日 発行:認定NPO法人NPOサポートちがさき 発行責任者:益永 律子

「さぼちが」が「サポセン」指定管理者に指定されました 代表理事 益永 律子

2021(令和3)年4月1日から2026(令和8)年3月31日までの5年間、茅ヶ崎市民活動サポートセンター(以下、サポセン)の指定管理者に特定非営利活動法人NPOサポートちがさき(以下、さぼちが)を指定することが、12月14日(月)開催「令和2年第4回茅ヶ崎市議会定例会本会議」において、全会一致で可決されましたことを会員および賛助会員のみなさまに本『ハーモニー特別号 No. 1』にてご報告申し上げます。

今回も「指定管理者の募集」は全国からの公募という形になりました。さぼちがでは、過去の貴重かつ豊富な経験を活かすとともに次期5年間引き続きサポセンの運営に携わりたいと、8月19日(水)開催の全体会・臨時総会で会員のみなさまの同意を得て、総勢8名の作業プロジェクトチームを編成し、「事業提案書」等の指定管理者指定申請提出書類の作成を行い、9月17日(木)に茅ヶ崎市に提出しました。10月5日(月)には指定管理者選定等委員会の面接審査(非公開)がありました。その後、委員会等での審議を経て、12月14日の茅ヶ崎市議会本会議にてさぼちががサポセンの指定管理者に指定されました。

12月14日の本会議における小磯議員や榎木議員の身が引き締まるご発言も踏まえ、また、選定委員会の評価などの公表情報を可能な限り収集し、会員・賛助会員のみなさまにご報告して、サポセンの今後の戦略構築に向けてお知恵をいただきたいと考えています。

小磯議員や榎木議員のご発言の要旨は以下の通りです。

小磯議員のご発言(映像43'09"~43'40")
市民活動サポートセンターの設置目的を最大限に発揮する運営と実施について庁内の各部署と連携して、コロナ禍で、市民活動を支える重要な拠点として機能することを期待します。特に、市民活動を支援する専門的スキルを持った職員の人材育成にさらに力を入れて頂くことを求めます。

榎木議員のご発言(映像47'42"~48'20")
元々、行政の戦略として、NPOサポートちがさきに管理して頂くとの方針でした。努力の結果、当初から比較すると進化していることは評価するものの、業務や雇用面でNPOであるため財源が厳しい側面もあると承知しております。改善に努めるには、行政側の協働と指導が必要と感じており、留意して頂くことを申し添えます。

「令和2年第4回定例会(速報版)」は、茅ヶ崎市議会ホームページの[本会議第3日\(12月14日\)](#)
[\(外部リンク\)](#)で公開されています。下のQRコードを読み取ることで映像の視聴が可能です。



会員・賛助会員のみなさまにおかれましては、今後ともさぼちがの運営にご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

認定特定非営利活動法人NPOサポートちがさき
代表理事 益永 律子

12月14日の市議会本会議にて、さぼちががサポセンの指定管理者に指定されましたので、『ハーモニー特別号 No.1』を発行いたします。今後もタイムリーな情報発信に心掛けたく、みなさまどうぞよろしくお願いいたします。(編集)